

主要取引先(敬称略・50音順)

株式会社 IHI	トヨタ自動車株式会社	青山学院大学	東京工業大学
株式会社アイシン	株式会社豊田自動織機	宇都宮大学	東京工芸大学
宇宙航空研究開発機構	株式会社豊田中央研究所	大阪大学	東京電機大学
株式会社エンビジョン AESC ジャパン	日産自動車株式会社	大阪工業大学	東京理科大学
オリックス・レンテック株式会社	一般財団法人日本自動車研究所	大阪府立大学	東北大学
国立研究開発法人産業技術総合研究所	日本電気株式会社	鹿児島大学	徳島大学
株式会社 GS ユアサ	パナソニック株式会社	神奈川工科大学	長岡技術科学大学
ジャトコ株式会社	株式会社日立製作所	岐阜大学	長崎大学
スズキ株式会社	日立 Astemo 株式会社	九州工業大学	名古屋大学
株式会社 SUBARU	日野自動車株式会社	慶応義塾大学	名古屋工業大学
住友電気工業株式会社	富士電機株式会社	滋賀県立大学	広島大学
独立行政法人製品評価技術基盤機構	本田技研工業株式会社	静岡大学	福井大学
ダイハツ工業株式会社	株式会社本田技術研究所	静岡理工科大学	北海道大学
TDK 株式会社	マツダ株式会社	芝浦工業大学	三重大学
公益財団法人 鉄道総合技術研究所	三菱自動車工業株式会社	首都大学東京	明治大学
株式会社デンソー	三菱電機株式会社	職業能力開発総合大学校	山口大学
一般財団法人電力中央研究所	ヤマハ発動機株式会社	千葉大学	横浜国立大学
東京電力ホールディングス株式会社	横河レンタ・リース株式会社	千葉工業大学	琉球大学
株式会社東芝	ローム株式会社	東海大学	早稲田大学
東芝三菱電機産業システム株式会社		東京大学	

会社概要

会社名	Mywayプラス株式会社 (英文表記: Myway Plus Corporation)
設立	1993年7月27日
資本金	7,050万円
取引銀行	三井住友銀行・横浜銀行・みずほ銀行・商工組合中央金庫
代表	代表取締役社長 楊 仲慶 (浙江大学卒業、東京工業大学博士号取得)
顧問	技術担当 赤木 泰文 (東京工業大学特任教授/名誉教授)
URL	www.myway.co.jp
関連会社	邁為電子技術(上海)有限公司



ISO9001 取得企業

FM 673546 / ISO9001

事業内容

パワーエレクトロニクス分野での製品・技術開発の支援業

- ①開発用ツール
- ②試験用電源・バッテリー 充放電試験システム
- ③モータ・インバータ評価システム

会社所在地

本社

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜1-28-8 Mywayテクノタワー
TEL 045-548-8831 FAX 045-548-8832



名古屋オフィス

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-15-33 栄ガスビル

大阪オフィス

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-6-20 パシフィックマークス西梅田

Mywayプラスウェブサイト

www.myway.co.jp

本カタログは環境に配慮した再生紙を使用しています。

当社に関するお問い合わせ

ご相談窓口(代表): 045-548-8831 (営業): 045-548-8836

- FAX受付: 045-548-8832
- メール受付: corporate@myway.co.jp
- 受付時間: 月~金 9:00~18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日除く)

このカタログに掲載の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。製品の色等は、印刷により実際の色とは異なって見える場合があります。

Mywayプラス株式会社

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜1-28-8 Mywayテクノタワー

Copyright © Myway Plus Corporation.

このカタログの記載内容は2022年2月現在のものです。

Myway
it's a passion way

Company Profile

Mywayプラス株式会社



パワーエレクトロニクス分野での
製品・技術開発を支援します。

「地球にちょっぴりいいことをする」ことが、
私たちの使命です。

Mywayプラス製品の最新情報はこちら

www.myway.co.jp

世界をスマートに。開発をスマートに。

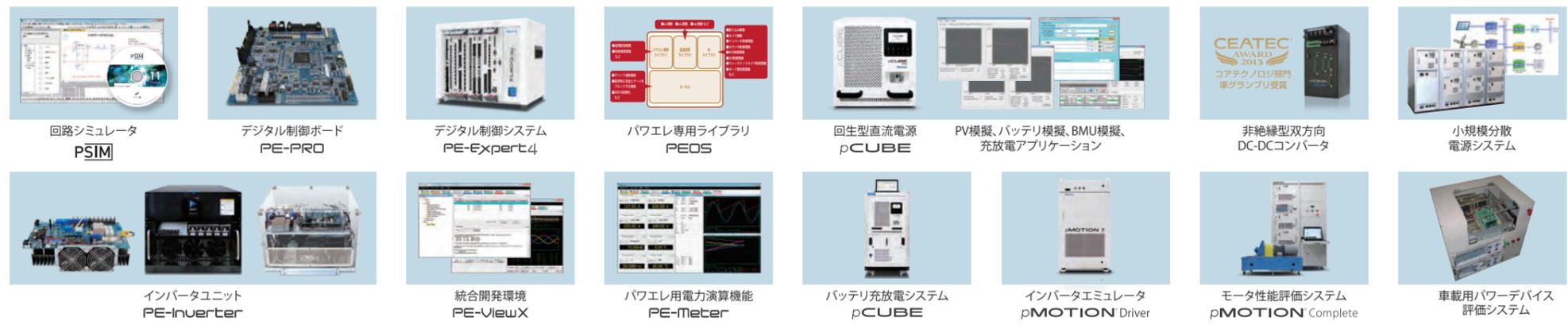
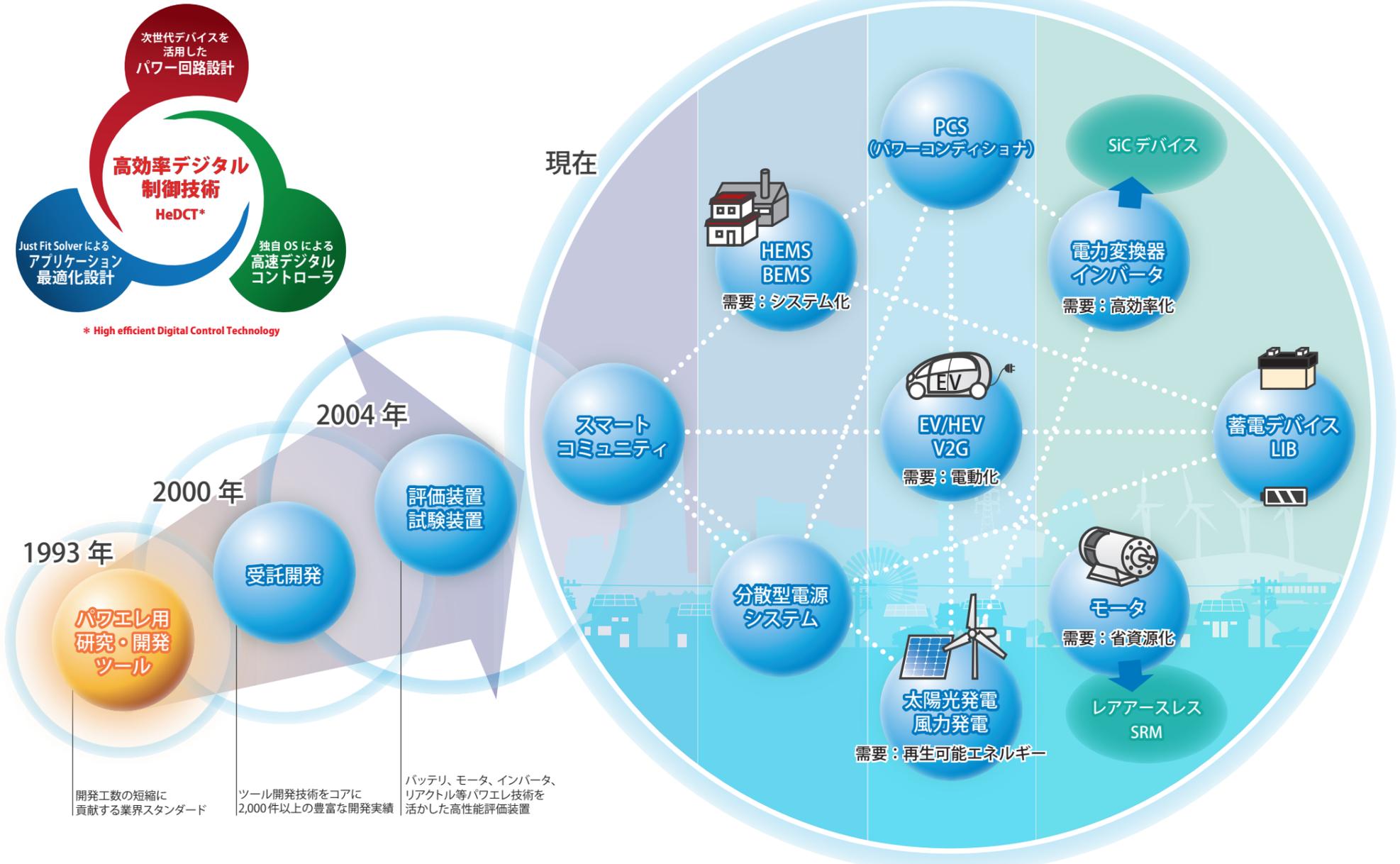
今日、環境問題は人類の共通課題となっております。豊かな生活のまま地球を守るには、電気エネルギーの有効利用が必要となります。私たちは省エネの技術を推進し、新エネの創出を通じて、世界を、そしてあなたの開発をスマートにします。それが私たちの"passion way"です。

Mywayプラスのコア技術

次世代デバイスを活用した「パワー回路設計」、独自パワエレ OS による「高速デジタルコントローラ」、そして「アプリケーション最適化設計」の3つを統合した「高効率デジタル制御技術 (HeDCT)」が Myway プラスのコア技術です。「高効率デジタル制御技術」で、変換器の損失ゼロを目指し、パワエレ製品の小型化に貢献していきます。

沿革と実績

- 1993年 会社設立 (設立時の名称は「マイウェイ技研株式会社」)
- 1996年 パワエレ用デジタル制御システム「PE-Expert」の提供開始
業務拡張のため本社移転 (横浜市港北区新横浜3-22-4)
- 1997年 パワエレ用シミュレーションソフト「PSIM」発売開始
パワエレ用組み込みボード「PE-PRO」、パワエレ用 OS「PEOS」提供開始
- 1999年 「電源・負荷兼用双方向電源」が、神奈川県工業技術大賞奨励賞受賞
業務拡張のため本社移転 (横浜市港北区新横浜1-19-3)
- 2001年 双方向試験用電源「APL」提供開始
「小規模分散電源システムの系統連系運転と自律分散電源に関する研究開発」委託 (NEDO)
- 2002年 「小規模分散電源システムの実用化開発」プロジェクト採択 (経済産業省)
「フライホイール式無停電電源装置の開発」(経済産業省)
業務拡張のため本社移転 (横浜市港北区新横浜1-14-15)
- 2003年 「小規模分散電源システムの実用化開発」委託 (経済産業省)
「系統連系インバータユニットの販売委託及び技術供与」(横浜産業振興公社)
- 2004年 Myway 上海 (邁為電子技術(上海)有限公司) を設立
- 2005年 「マイクロ電気自動車用モータコントローラの開発」(神奈川県)
- 2006年 回路・制御一磁界連携解析ソフトの開発・提供開始
- 2007年 ルネサス社 SH マイコンにデバッグ I/F「WAVE」が搭載
- 2008年 「電動運搬車用インホイールモータ・コントローラの開発」(経済産業省)
「横浜価値組企業」認定
- 2009年 Myway プラス株式会社に商号変更
特殊車両搭載用モータドライバ「e-Engine」の提供開始
- 2010年 Myway 無錫 (無錫邁為電子技術有限公司) を設立
業務拡張のため本社移転 (横浜市西区花咲町6-145 横浜花咲ビル)
- 2011年 東京工業大学 (千葉研究室) と「SRM モータ」の共同研究開始
- 2012年 回生型直流電源/バッテリー充放電システム「pCUBE」発表
「太陽電池模擬・リチウムイオンバッテリー充放電試験用回生双方向電源の開発」(横浜市)
「パワエレ用デジタル制御システムの開発」(横浜市)
- 2013年 世界初 SiC パワーモジュールを搭載した実験用インバータを開発
「パワエレ用次世代開発システムの開発」(横浜市)
名古屋地域に拠点開設
非絶縁型双方向 DC-DC コンバータが、「CEATEC AWARD コアテクノロジー部門準グランプリ」を受賞
- 2014年 「ファンレス方式による完全防水・安全堅牢なポータブル蓄電池システムの技術開発」(NEDO)
- 2015年 資本金を4,800万円から7,050万円に増資
弊社製品「pCUBE」が、NITE*1 蓄電池評価センターの標準計測器に採択
*1 NITE (独立行政法人製品評価技術基盤機構)、世界最大規模の蓄電池試験評価施設 (2016年夏以降、稼動開始予定)
「IT 技術を用いた研究開発用パワーメータの開発」(横浜市)
「充放電試験に適するパワエレ回路技術を用いた小型・回生型直流電源システムの試作開発」(中小企業庁)
「横浜知財みらい企業」認定
- 2016年 APEC 中小企業イノベーションアワードを受賞
「横浜知財みらい企業」認定*2 (*2) 2011年より6年連続
- 2017年 大阪地区に拠点開設
横浜知財みらい企業に認定
当社技術顧問の赤木泰文先生が IEEE メダルを受賞
- 2018年 創立25周年 Family 感謝 DAY を開催
- 2019年 新横浜オフィスを開設
- 2022年 業務拡張のため自社ビルに本社移転 (横浜市港北区新横浜1-28-8 Myway テクノタワー)



次世代技術を支える高い技術力、豊富な開発経験

EV/HEV を始め、スマートグリッドや V2G (Vehicle to Grid) が環境に貢献する次世代技術として注目されています。これらを支える要素技術は「電力」、「電機」、「制御」、「IT」など、多数挙げられますが、中でも「制御」は省エネ効率を左右するキーテクノロジーです。私たちはパワエレ用研究開発ツール分野で培った技術力、豊富な産学案件で培ったノウハウを活かし、数多くの案件を支援してきました。「デジタル制御」、「インバータ制御」、「モータ制御」の3つをコアテクノロジーとし、豊富なノウハウでお客様に支援いたします。